

『大屋根』の下に人々が集う開放的な複合新庁舎

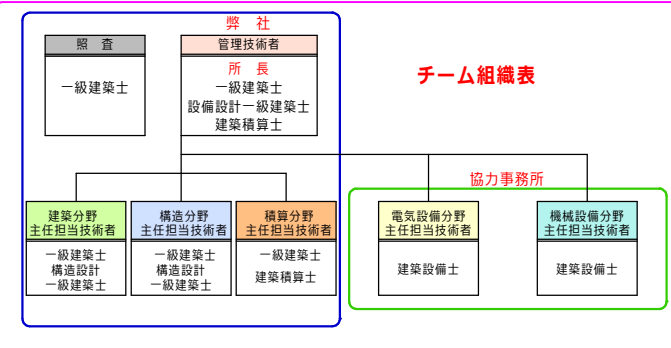
1 設計業務にあたっての考え方



2 業務への取組体制

専属スタッフ・協理事務所スタッフによる綿密な対応

文化・公益施設の設計経験豊かなスタッフで構成します。私共事務所は、一級建築士6名、その内、構造設計一級建築士が2名、設備設計一級建築士1名、建築設備士1名、CASBEE 2名在籍しております。さらに、設備設計を同種施設の経験豊かな設備設計事務所に依頼し、各担当技術者がそれぞれの持てる力を充分に発揮出来る環境を構築します。また、チーム内での意思の疎通を図るため、毎週打合せを行います。

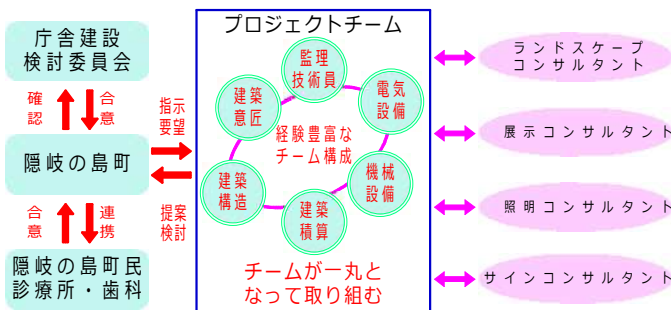


設計チェック体制の強化徹底

- 設計チームとは別に**照査チーム**を組織し、設計図をチェックし、設計チームの後方支援を行います。**第三者によるチェック**を行うことで、各図面の整合性を確認し、精度の高い図面を作成します。
- 意匠、構造、設備が密接に関連する部分を**総合図にまとめて**情報共有し、全体の把握と相互確認による**設計品質の向上**を図ります。

同種施設の設計経験のあるチーム

- 公官庁などが発注の庁舎、民間の診療所、歯科医院を多く設計監理しており、その時も近隣説明会なども開き地元住民に理解され愛される施設等が出来上がりました。そうした**経験のあるスタッフ**により構成し、新しい知識を施設設計に活かします。
- 管理技術者は業務が滞りなく推進するよう全体を統括します。また、各分野の専門アドバイザーの協力を仰ぎ、専門性の高い展示、サイン、照明、ランドスケープにおいても**様々なニーズに対応**します。



連携により確実に対応できる設計対応

- 隠岐の島町、関係機関と連携しながら、様々な検討を**同時並行**で行い、問題点に**複数の観点からアプローチ**を行います。
- 主任技術者を中心に意匠、構造、設備の設計業務のコアメンバーによる、業務連絡会を行い、**情報を一元化**し、チーム内での**意思の統一**を図ると共に、迅速でタイムリーな**意思決定**を行います。
- 業務開始と共に発注者、関係者と打合せ日程を決定し、早期に情報の整理、確認など適切に準備を行い、**手戻りのない計画**とします。

町民と共に歩む設計体制

- 隠岐の島町民の方に愛され、**末永く地域の中心で輝き、町を活性化**させることが出来る建物とすることが、**最重要課題**と考えます。
- 住民アンケート結果を踏まえながら、行政、各種団体、町民が参加出来るワークショップを開催し、町民に設計過程から参画して頂き、新庁舎への興味、関心、愛着を高めて行けるよう努力します。
- ワークショップでは、各回ごとにテーマを設定し、中身のある内容とし、そのなかで上がった様々な意見をまとめ、検討し**スムーズな合意形成**が図れるように、努めます。
- ワークショップの結果は隠岐の島町と連携し、広く発信し、参加された人、参加されなかった人にも業務内容を知って頂き、常に興味を持って頂けるようにします。



わかりやすい資料による打合せ、ITC化による効率化

- 町担当課との設計会議(月に1回以上開催)を中心とした検討と協議を重ねて方針付けを確実にし、特に重要な課題については複数の解決案を様々な視点により比較検討の上、**十分な協議と確認、承諾**を経て最善の案に導く努力を行います。
- 協議、打合せ、町民ワークショップ、説明会に置いて専門的な図面だけでは分かりにくい内容をスケッチ、**イメージパース**を用いて分かりやすく提示し、誤解の生じない資料づくりを行います。
- 現状課題と解決策を整理したリストを作成し、**問題点の見える化**を行い、比較検討材料や検討資料会での基礎資料とし、問題解決を速やかに行います。

各工程毎に明確な目標の設定

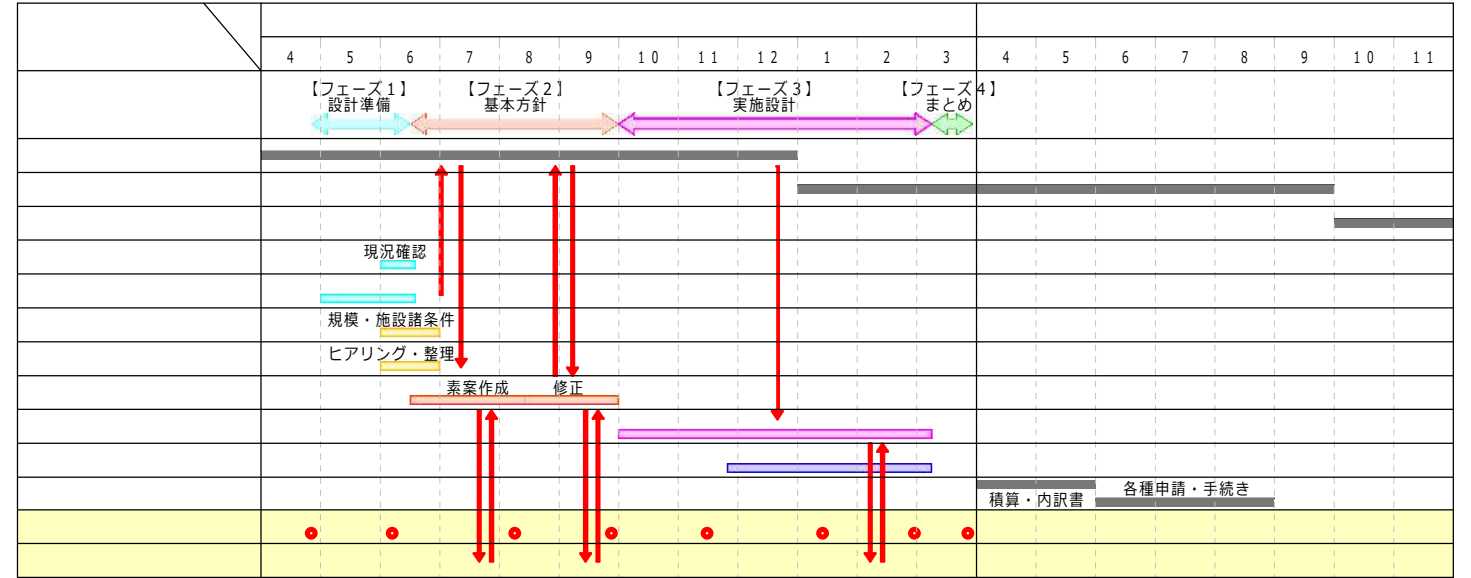
- 設計工程毎(現地調査、基本設計、実施設計)に明確な目標を掲げること、設計業務計画を管理します。

工事監理にも考慮した設計

- 基礎廻りの経済性、妥当性の確認
- 木材を使用した施設への配慮
- 構造の品質管理
- 経済性、更新を考慮した、機器及び工法検討



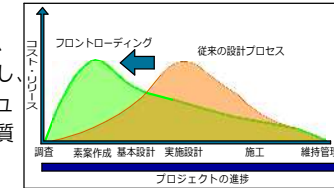
3 工程計画



4 設計上特に配慮する事項

フロントローディング方式の採用

- 基本設計のものを決める段階より、フロントローディング方式を採用し、設計の**初期段階**から各検証、シミュレーションを**前倒し**で行い、高品質な設計を行います。



開く力の強化

- 本業務で設計初期段階で基本方針、町民の意見、問題点等をまとめることが大変重要と考えます。私たちは設計初期段階に特に十分な人員を投入し、早期に解決を図ることが出来る体制を整えます。

後戻りのないコストコントロール

- 同種施設の実績に基づいた、コスト感覚に加え、近年の物価上昇を考慮した、精度の高いコストコントロールを行い、予算オーバーによる手戻りのない設計を行います。



予期せぬコスト増要因の想定

- 予想できないコスト増の要因として**外的要因**があります。これらをリストにより管理し、工事費に影響を及ぼす度合を検討し、対応方針を想定します。必要に応じて増額分の概算を算出し、早い段階で発注者と協議を行い、無理のない**適正な工事費算出**を目指します。

離島という条件を十分に考慮、検討、把握した設計の遂行

- 離島ならではの単価を念頭に置いた設計、概算工事費の算出を行い、予算内で可能な設計を行います。
- 可能な限り、地元業者が施工出来る**汎用的な仕様や工法**を選択し、設計見積を地元で徴収することで、より適切なコスト管理が出来るように配慮します。

基本設計終了時の事業費確認を徹底管理した業務計画

- 基本設計終了時**の事業費確認は実施設計を行う前の、最重要ポイントと考えます。この段階の工事費に行政の方針、関係者の要望、意匠性、構造工法、設備方式等の積算上重要な情報となる項目を抑えることで、**適切なコスト配分計画**を行い、実施設計での工事費の増減を把握します。

シンプルで端正なデザイン

- 最低限の機能性、耐久性を確保しつつ、適正コストの規格等、素材そのものの風合いを生かした、**シンプルで端正なデザイン**を提案し、飽きの来ない設えとします。
- 規格品を用いることで、**一部分でも改修が容易**に行える設計とし、将来の改修時に費用が抑えられる計画とします。
- 統一感のあるデザイン**を用いることで、**工期短縮及びコスト削減**が可能な計画とします。

マスタースケジュールによる管理

- 設計工程に遅れが生じないようにマスタースケジュールを管理し、遅れ手戻りが無い計画とします。スケジュールに遅れが生じた場合は速やか問題点を把握、解決し**納期を遵守**します。

安全、安心、気軽に避難できる施設

- 災害時にも庁舎機能、診療所機能の**継続が可能**となる安心な施設とします。駐車場は雨水を浸透排水出来るように整備し、集中豪雨時の避難の妨げにならないように配慮します。
- 有事の際に**即座に防災基地**となり、避難してきた人々の不安を和らげることが出来る安心感のある庁舎を目指します。
- 避難時のプライバシー確保、トイレ等にも配慮を行います。

隠岐の島町ブランドが発信、伝承出来る施設

- 離島隠岐の島町のジオパークの魅力、郷土の長い歴史を後世、渡航者に伝えることが出来る施設として整備し、地域起こし協力隊の活動報告の場を設け、後にUターンIターンの方が多くなるよう配慮します。

中長期の保全計画作成

- 中長期の保全計画書を作成します。長期的視野に立った**予防保全計画の実施**、建物の長寿命化の促進、執行予算の平準化が可能となります。
- 設備の故障が起きてから対応する事後保全では、必要な時に必要なサービスが受けられない可能性があります。また、突発的な修繕費が高額であった場合、計画していた事業に影響を与える可能性があるため、**計画的に保全計画を行う**必要があると考えます。